

一緒に考えませんか

まちの声あれこれ

市役所には、毎日多くの意見や要望が寄せられています。その中から、いろいろな見方のできる事例を取り上げ、誌上で一緒に考えてみましょう。

今回のテーマ

行政の強力な支援で商店街の活性化を

近所の商店街は、大型スーパーなどにお客を奪われ、空き店舗が目立ちます。遠出のできないお年寄りなどにとって、商店街は不可欠です。ロードヒーティングの施設など、環境整備に取り組み商店街もあるようです。行政が地域の商店街をもっと強力に支援して活性化し、住みよいまちにしていく必要があるのではないのでしょうか。

これは、実際に寄せられた声を基に構成したものです。

テーマに対する皆さんの声（敬称略）



行政の強力な支援で商店街の環境整備を

近くの商店街は、閑古鳥が鳴いているかのようですが、地元の商店街を利用しているお年寄りは大勢います。行政と商店街がコミュニケーションをとり、駐車場などの環境整備についてよく話し合ひましょう。行政の強力な支援が必要です。

（豊平区・佐藤清弘 67歳）



空き店舗が目立つ商店街活性化にはまず家賃を安くして

私は、二年前に総菜店を閉店しました。お年寄りが楽しそうに話す



ただ行政に頼るのではなく商店街独自の考えを明確に

各店舗のやる気や取り組み方次第です。改善しようとする意志や具体的な計画のない商店街に支援しても無駄なのは。ただ行政に頼るのではなく、今後について独自の考えを明確にした上で、行政や住民の協力を依頼するべきではないでしょうか。

（白石区・匿名希望 33歳）



商店街は客を呼ぶ努力を行政はより良い住環境作りを

客の来る商店街を作るのは、その商店街の努力に尽きると思います。より良い住環境を行政が作ることに、住民はおのずから増えます。その住民のニーズ（需要）を、的確にとらえることができない商店街に明日はありません。誰にとっても商店街が活性化することは理想ですが、行政に頼ることではないのでは。

（白石区・匿名希望 64歳）



お年寄りには配達するなど客のニーズにこたえる対策を

商店街の衰退の理由はさまざまですが、その対応策については、あくまでも商店街が考えるべき。行政が支援することには反対です。遠出のできないお年寄りには配達をするなど、客のニーズ（需要）にこたえることを考えていくべきだと思います。

（西区・西倉寿雄 73歳）



空き店舗の多い商店街はコンビニやスーパーに

経営力不足の商店街に、行政が支援することには反対です。空き店舗が増えてきた商店街は全店閉店し、スーパーやコンビニになってくれれば不便はありません。不自由な方には、買い物代行ボランティアを行政から派遣してもらうのはどうでしょうか。

（中央区・高橋佳子 37歳）

経済局からの意見

商店街は、地域住民の消費生活を支えているほか、地域全体の魅力の向上を目指した「まちづくり活動」を行っている団体です。厳しい経済状況の中でも、お祭りイベントの開催、街の便利帳の発行、街路灯やロードヒーティングの設置などに取り組んでいます。市としても、商店街が自ら取り組むこうした活動に、支援をしていきたいと考えています。

（産業振興部産業振興課）

次回のテーマ

みんなが気持ちよく体育館を利用するために

体育館の利用にはルールがありますが、混雑してくるとそれが守られなかったりします。特に、初めて行く人や子供などは、なかなか使えず戸惑うことも。交代しながら、みんなが気持ちよく体育館を使うためには、ルールを徹底させる工夫が必要ではないでしょうか。

このテーマに対する皆さんの声を募集します

はがきに意見(200字程度)、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、7月18日(木)(消印有効)までに〒060-8611市役所広報課「まちの声あれこれ」係へ。誌上は匿名も可能です(匿名希望と明記)。掲載の場合、特製ウイズカード(1,100円分)を差し上げます。なお、スペースの都合で、お寄せいただいた意見の字数などを調整させていただくことがあります。